

産業環境委員会議案説明資料

令和3年3月11日

| 件名 | 頁 |
|-------------------------------------|---|
| 1 第20号議案 足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言 | 2 |

(環境部)

第20号議案説明資料

令和3年3月11日

| | |
|-------|---|
| 件名 | 足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言 |
| 所管部課名 | 環境部環境政策課 |
| 内容 | <p>1 概要</p> <p>足立区議会の議決すべき事件を定める条例第2条第2項の「区としての基本的な方向性を定める宣言の制定及び改廃」に基づき、2050年までに区内の二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言する。</p> <p>2 背景</p> <ul style="list-style-type: none">・ 世界中で地球温暖化が影響したとみられる気象災害が多発し、今後さらに影響が拡大していくことが懸念される。・ 菅総理大臣は、我が国の2050年に温室効果ガス排出量の実質ゼロを宣言した。・ 全国の300自治体（3月3日現在）も同様の表明をしている。都内では、東京都、葛飾区、多摩市、世田谷区、豊島区、武蔵野市の順に6団体が表明し、友好都市の鹿沼市も表明済みである。 <p>3 宣言文</p> <p>別紙のとおり</p> <p>4 宣言年月日</p> <p>本議案が議決を得られた際には、即日宣言する。</p> |
| 今後の方針 | <p>宣言後、区内外に広くPRするとともに、現在、改定中の環境基本計画に2050年の実質ゼロに向けた中・長期的な方針と短期的な取組みを盛り込んでいく。</p> |

足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

世界は今、気候非常事態に直面しています。

これまでにない豪雨や干ばつ、熱波等の異常気象は、大規模な災害を引き起こし、生態系に異変をもたらすなど、人類を含む様々な生き物に対する脅威となっています。また、足立区においても、毎年、猛暑による熱中症で多くの方が搬送されるばかりか、2019年には、記録的雨量による河川氾濫のおそれから3万人以上の区民が避難するなど、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

これらの異常気象の主な原因は、地球温暖化だと考えられています。人類の活動により、大量に排出してきた二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスが、地球の気温を上昇させてきたのです。

2015年、日本を含む世界の国々は、世界の平均気温上昇を抑えるための国際的な取り決めであるパリ協定に合意しました。その後、多くの国が温室効果ガスの排出量と吸収量のバランスをとり、大気中への二酸化炭素の排出を実質ゼロにする目標を掲げています。日本政府も、2050年までに排出を実質ゼロにする「カーボン・ニュートラル」を表明し、同様の動きは、自治体や企業にも広がっています。

地球温暖化は、決して他人事ではありません。これからの私たちの行動が地球の将来を決めるのです。豊かな川の流れや桜の花が咲き誇る「あだち」を、未来に引き継いでいくことが、今を生きる私たちの責任です。

足立区と足立区議会は、すべての区民・事業者・団体等と、気候が地域を超えた非常事態であるとの認識を共有し、国や他の自治体、企業とも連携を図り、オール足立で2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを宣言します。

- 1 二酸化炭素を排出しないエネルギーを最大限に活用する社会への転換に貢献します。
- 2 貴重な資源を持続的に利用できる循環型システムの構築に貢献します。
- 3 これらの実現に向け、すべてのひとの積極的な行動を促します。

年 月 日

足立区長 _____

足立区議会議長 _____